

## 審 議 会 会 議 録

会議名称	令和4年度 第3回伊達市立図書館運営協力会		
議 題	(1) 教育長への提言について		
開催日時	令和4年10月25日(火) 14時00分～14時25分		
場 所	伊達市立図書館 2階 視聴覚室		
出席委員	万代 淳 委員    本多 正機 委員    伊藤 洋子 委員 松崎 恵子 委員    坪 美幸 委員    小林 浩路 委員 高橋 秀壽 委員    (計7名)		
	所管部課名	教育部図書館	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<b>【会議の概要】</b>			
1 開会 (事務局：図書館長)			
2 議題【詳細は別紙のとおり】			
(1) 教育長への提言について		添付資料1	
3 その他【詳細は別紙のとおり】			
4 閉会			

【別紙（「2 議題」の協議内容等）】

(1) 教育長への提言について 資料1

会 長：前回の会議でいただいた意見を基に正副会長と事務局とで協議して修正し取りまとめた。本日の会議で提言内容を確定して、教育長に提言したいと思う。事務局から説明願います。

事務局：＜資料に基づき説明＞

会 長：内容についての意見も出していただきたいが、前回の内容から大きく修正をしていないため、意見はないかもしれないが、教育長に提言書を渡す際に、ここを強調した方が良い部分があればいただきたい。

前回からは、整備事業の凍結期間や未舗装の低い部分に砂利を敷く等の導線の確保について修正追加している。

事務局：砂利の支給については建設部に依頼しており、他の箇所への支給とまとめて運搬になるので、少々お時間をいただきたい。

委 員：砂利道の部分を車椅子の人が利用する場合、通りづらいと思うが、どのように考えているのか。

事務局：舗装されている歩道を通っていただくのが一番安全だと考えている。

委 員：歩道を通ると遠回りになるので、一本通り道を造るなどの対応はできないのか。

事務局：今の段階では舗装するという事にはならないと思う。

委 員：車椅子の場合、例えば車で来られたのであれば、玄関正面の道路に横付けしてもらって、利用してもらう方が良いのかもしれない。雨が降った時に低い部分に水が溜まって不便だという話だったと思うが、今舗装すると二重の経費になるので、応急措置として砂利を敷くということである。

事務局：砂利を敷く予定箇所の他は、北側駐車場との間の点字ブロック部分が低くなって水が溜まりやすくなっている。

副会長：教育長に提言書を持っていくときに、より具体的に話す内容についてご意見をいただきたい。食育センターや総合体育館とも導線を確保して欲しいと言うかもしれない。

会 長：図書館周辺の整備については駐車場も再整備してもらえれば良いが、駐車場からの経路がどうなるかによって費用との関係で難しいかもしれない。提言時には、周辺の整備についても伝えたいと思っている。提言としてはこのまま持っていくが、他にもあれば意見をいただきたい。

委 員：1の④で来館者が利用しやすい導線の確保とあるが、書架の間隔や高さとか、障がい者に配慮した導線の確保について伝えて欲しい。

委 員：提言内容に直接関わらないことだが、「はじめに」の中で、歴史と文化の街を標榜するとあるが、そういうコンセプトなのか。

会 長：これは私が考えた文章で、具体的にどこからか持ってきたものではありません。

せん。

委員：これをみると、伊達市は歴史と文化を大事にしているまちだと受けとられると思った。体育協会の方はスポーツの街づくりをしているので違う意見が出るかもしれない。

事務局：ここにスポーツの街や福祉の街と入れることはできないので、運営協力会としては歴史と文化の街を標榜しているという押さえで良いのではないかな。

委員：個人的は標榜という言葉が凄く気になった。「市民の知の宝庫」としての使命を果たすとも書いてある。

会長：これも同様です。

委員：図書館あり方検討委員会の中で、気軽に来て心地よく過ごせるなど、いろんな議論が出た中で、「市民の知の宝庫」としての使命を果たすと一括りにしてしまうと、こういう一面ももちろん大事であるが、気になってしまう。

会長：特別の意味があるわけではないので、「市民の知の宝庫」の「」の部分を外したほうが良いかもしれない。如何でしょうか。

各委員：異議なし。

副会長：決意表明ではないが、前回の会議の際に、部長からも図書館整備の準備を進めていると説明を受けたが、いつから整備するのかということが凄く気になっているところである。コロナ禍や伊達小学校の建て替えでストップになって我慢しているところがあるのだけでも、いつから整備してくれるのか、市民の一人としての関心事である。そこら辺はなんとか聞き出してみたい。他に提言に補足して欲しいところがあれば言ってもらえると助かる。

会長：提言文書だけでは答えるほうもいついと思うので、意見を出していただきたい。

委員：伊達小学校の建て替え工事が終わるまで凍結と書いてあるが、それはいつになるのか。

事務局：令和6年3月までには工事が終わるので、それまでには整備方針を考えることになる。

委員：そうすると、令和6年度以降には整備に着手するという段取りで押さえて良いということですか。

事務局：ここで、はいとは言えないが、そういうつもりで準備を進めている。

委員：これから読み取ると、令和6年度後半か令和7年度には、工事が始まるということですね。

委員：もちろん、そこからの話し合いということはないですよ。

事務局：そうです。場所の選定や予算規模とか、全て鑑みて決めていなければなら

ない。ただ、委員の皆さんからいただいた意見を当然大事にしていく。コロナ禍で、税収などのこともあって読めないが、市の事業の上位に考えられていると思うので、何とか整備をしたいと思っている。

委員：相当建築資材が高騰しているので、場合によっては規模縮小ということもあるかもしれない。

事務局：資材が入ってこない。

委員：今の状況としては良いことがない。

会長：皆さんの熱意だけは教育長に伝えてきたいと思っています。この内容で了解いただければ、私と副会長そして事務局とともに教育長に対して提言したいがよろしいか。

各委員：異議なし。

### 3 その他

<事務局から報告>

- ・秋の読書週間について
- ・みんなのオススメ本POPコンテストについて

令和4年度

伊達市立図書館運営協力会提言（案）

令和4年 月 日

伊達市立図書館運営協力会

## 【はじめに】

私たち伊達市立図書館運営協力会は、平成19年の設立以来、市民アンケート、先進地公立図書館の視察研修、講師を招聘した各種学習会等を実施しながら本市立図書館の現状や課題、望ましい将来像等について市民目線に沿い多岐に渡って議論を重ね提言を行ってまいりました。

また、平成28年度に「伊達市立図書館あり方検討委員会」による提言、平成30年度に「伊達市立図書館運営基本方針」の策定などを実施し、より良い図書館づくりに向けた活動が進められています。

その中で、先進地公立図書館の視察研修などを行い、当市の老朽化した図書館の整備に向けて提言してまいりましたが、市の財政状況により事業凍結となった経緯があります。

伊達市立図書館運営協力会としては、歴史と文化の街を標榜する伊達市民として、伊達にふさわしい胸を張って誇れる図書館の実現を熱望しております。

今後、伊達市立図書館が一層充実し、「市民の知の宝庫」としての使命を果たしていくことを願い、次のとおり提言いたします。

伊達市立図書館運営協力会 会長 本多 正機

## 1 図書館施設整備の早期実現について

図書館施設の整備については、令和2年12月に伊達市の財政状況と政策的な判断により伊達小学校の建て替え工事が終わるまで凍結となりましたが、現在の施設は築40年以上経過して老朽化が著しく、利用者にとっても職員にとっても不便さが増しています。

また、5月26日に実施した「室蘭市図書館」視察や過去に実施した視察の内容を生かし、伊達市立図書館においては、環境に配慮しつつ長時間滞在に対応した明るく快適な空間を有する居心地の良い図書館を実現すべく早期の施設整備を実現していただきたい。

なお、施設整備の際には特に下記項目を反映していただきたい。

- ①学習室の拡充、新聞・雑誌スペースの効果的な配置
- ②飲食可能な閲覧スペースの充実、自動販売機の設置
- ③市民の財産である図書資料を除籍せずに配架できる書架の配置  
と児童書や絵本の五十音順配置
- ④来館者が利用しやすい導線の確保

## 2 図書館の利用拡充について

Wi-Fi環境の整備、刊行物や館内案内の充実のほか、館内掲示やインターネットによる情報発信の強化なども進められていますが、引き続き図書館活動の丁寧な周知活動を行っていただきたい。その際、コロナ禍などの昨今の情勢を踏まえて、多くの市民に安全・安心して利用してもらえるよう対策を進めるために、利用者の要望を聞き、各種団体との連携を密にするなどしていただきたい。

また、図書資料の貸出について、インターネットや電話での予約ができることの積極的な周知、及び返却期限遵守の周知とその啓発に努め、多くの利用者が利用しやすくなるよう対応いただきたい。

### 3 学校との連携の進め方について

幅広い読書機会を提供するとともに、読書習慣を身につける上で学校における読書環境の整備は重要です。

小中学校と連携することで、児童生徒の読書環境が大きく改善されるとともに、国語学力テストの結果が向上した自治体もあります。

市内の学校再編を進めている段階であるとは思いますが、学校からの要望を踏まえ、読書普及に繋がる活動に努めていただきたい。

また、市全体の読書活動の活性化の一つの方策として、市内の高等学校等との連携を検討していただきたい。

### 4 図書館職員の適正な人員配置について

現在の図書館職員数では、図書館施設整備の実現や図書館の利用拡充、学校との読書活動の連携を進めるなど、現状を超える事業には対応できかねる状況であるため、図書館職員を補充して適正な人員配置について十分に配慮いただきたい。



○伊達市立図書館運営協力会

役 職	氏 名	所属団体等	選出区分
会 長	本多 正機		公募
副会長	小林 浩路	伊達市社会教育委員	有識者
委 員	安藤 明		公募
	伊藤 洋子	いとう文庫主宰	読書活動グループ
	小倉 敬		公募
	佐藤 朋子	伊達ブンブン文庫	読書活動グループ
	高橋 秀壽	伊達市校長会	有識者
	坪 美幸	きつつきの会	読書活動グループ
	万代 淳		公募
	松崎 恵子	お話の森	読書活動グループ

○委員会開催概要

	開催日	議事
第1回	令和4年6月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長への口頭提言結果について</li> <li>・今年度の会議等開催日程について</li> <li>・図書館の概要について</li> <li>・先進地視察を踏まえて、当館で実践・応用可能な取組について</li> <li>・教育長への提言について</li> </ul>
第2回	令和4年8月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長への提言について</li> </ul>
第3回	令和4年10月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長への提言について</li> </ul>